

地域需要創造型等起業・創業促進補助金採択者事例

加藤 美千代(かとう みちよ) 氏 【地域需要創造型起業・創業】(愛知県)

死別の苦しみを軽減する「グリーフケア」を旗印に、線香・ろうそく等の商品をWebを活用して販売

【事業テーマ】 グリーフケアギフトの販売(線香・ろうそく等の販売)

【設立日】 平成 25年7月3日

【創業の場所】 愛知県名古屋市

【創業を志した経緯・きっかけはなんですか？】

6年前に2歳の息子を小児がんで亡くした後、息子への贈り物(香典返しやお淋し見舞)が、急に個性のないものになることに違和感を覚えました。また、息子のイメージや我が家のリビングに合う線香・ろうそくが、国内では手に入りにくいことに寂しさを感じました。

そうした状況の中、2年前に海外で素敵な線香とろうそくに出会い、「これが日本でも買えるようになればよいのに」と考えるようになりました。さらにその後、東日本大震災により「子供を亡くされた親」仲間が多く生まれてしまったことに心を動かされ、創業を決意しました。

公益財団法人あいち産業振興機構の「あいち創業道場」との出会いが、決意を後押ししてくれました。

【現時点での事業展望を教えてください！】

- ・ 日本における「喪のギフト(香典返しやお淋し見舞)」の概念を一新させたいと考えています。
- ・ 香典返しを「人生最後のギフト」と位置付け、「故人を偲べる個性あるもの」に革新します。
- ・ 遺族の交流会などを全国で開催します。闘病や死別のショックのために離職した母親たちを臨時スタッフとして雇い、社会復帰のきっかけを提供します。
- ・ 孤児院などに継続的に寄付を行い、「購入することで社会貢献ができる」ネットショップを目指します。

【創業補助金活用のために支援を受けた機関】

(認定支援機関) 大垣共立銀行 本山支店

(支援内容) 事業計画の作成、計画の実行のフォローアップ



<http://griefcaregift.com>